



らいぶらり高砂

平成21年12月号[2009]

発行 高砂市立図書館

高砂市曾根町2301-1

電話 079(448)8333

開館時間 9:30 ~ 18:00

～ 冬のお薦め図書 ～

『ゼロの焦点』 松本 清張 著

一九〇九年生まれの作家たち～生誕百年記念～

今年は、大岡昇平、中島敦、太宰治、埴谷雄高、そして、松本清張が生まれてちょうど百年目の年でした。

将来の地位は約束され、何ひとつ不満も不安もないはずの男が、前任地での仕事の引継ぎに行き来るといったまま新婚一週間で失踪した。ひとりのこされた若妻、禎子は、夫の行方をさぐるため、深い謎の中に踏みこむべく、西の古都金沢へと旅立つ。夫はなんのために失踪したのか、あるいは失踪させられたのか？

ようやく手がかりを掴んだ時、“自殺”として処理されていた夫の姓は曾根であった！夫の陰の生活がわかるにつれ関係者がつぎつぎに殺されてゆく。北陸の冷たい風光を背景に、追いつめられた人間の孤独と恐怖を描きつくし、最初から恐ろしい緊迫感に読者を引きこんでゆく。戦争直後の混乱が尾を引いて生じた悲劇を描いて、名作『点と線』と並び称される著者の代表作。

◇作家特集 その20 『今江 祥智 (いまえ よしとも)』

○プロフィール 1932年大阪生まれ。幼稚園で配られた「キンダーブック」により、初めて絵本と出会う。中学生のころ、中勘助の「銀の匙」を読んで感動座右の書とする。1966年、「海の日曜日」でサンケイ児童出版文化賞及び厚生大臣奨励賞を受賞。1973年、「ぼんぼん」で日本児童文学者協会賞を受賞。

中学校の英語教師や、福音館書店、理論社の「ディズニーの国」編集長、聖母女学院大教授など多数の職業を務める。

○主な作品 「兄貴」(理論社)、「大きな魚の食べっぷり」(新潮社)、「まんじゅうざむらい」(解放出版社)、「龍」(BL出版)、「ひげがあろうが なかろうが」(解放出版社)

※1階の展示コーナーに所蔵する「今江祥智作品」を並べています。ぜひご覧ください。



■ 図書館カレンダー

12月 [2009]							休館日
日	月	火	水	木	金	土	
		1	2	3	4	5	
6	7	8	9	10	11	12	
13	14	15	16	17	18	19	
20	21	22	23	24	25	26	
27	28	29	30	31			

1月 [2010]							休館日
日	月	火	水	木	金	土	
					1	2	
3	4	5	6	7	8	9	
10	11	12	13	14	15	16	
17	18	19	20	21	22	23	
24	25	26	27	28	29	30	
31							



■ 児童向けの行事（申し込み不要・無料）

★ えほんのじかん

12月5日（土）午後2時～ [約20分]
 図書館 児童室。 3, 4歳から
 絵本の読み聞かせを行います。

絵本 : 「くまの コールテンくん」

「しんせつな ともだち」



★★ おはなし会

12月12日（土）午後2時～ [約30分]
 図書館 児童室。 5, 6歳から
 絵本の読み聞かせとストーリーテリング。

お話 : 「おいしい おかゆ」

絵本 : 「かさじぞう」

「てぶくろ」



クリスマスのえほんのじかん

クリスマスにちなんだ絵本やお話をこの時期に楽しんでみませんか。お友達も誘ってみんなで楽しいひと時をお過ごしください。

日時 12月19日（土）
 午後2時～ [約45分]

場所 教育センター大研修室
 (図書館前)

対象 3歳から

プログラム オカリナ演奏
 絵本の読み聞かせ
 ストーリーテリング



※「らいぶらり高砂」は、『高砂市HP』に掲載しており、バックナンバーも閲覧できます。